



平成 27 年 8 月 20 日

日本タンクターミナル協会 業務委員各位

日本タンクターミナル協会
業務委員長 神村 雅彦

平成 27 年度屋外タンク貯蔵所に係る調査表他集計報告

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より当協会の活動にご協力頂き、厚く御礼申し上げます。
さて、平成 27 年度屋外タンク貯蔵所に係る調査表他集計を致しましたので下記の通りご報告いたします。

敬具

記

1. 屋外タンク貯蔵所に係るアンケート

32 事業所から回答を頂き、875 基の情報を得ました。

- ・ 昨年平成 26 年度より 1 事業所減、タンク基数 45 基回答減

旧基準増加 : 0.9%

新基準適合減少 : 0.4%

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
旧法基準	8.0%	6.3%	7.2%
新基準適合	33.6%	37.6%	37.2%
新基準タンク	11.8%	8.6%	9.4%
その他	46.6%	47.5%	46.2%

※ アンケート集計の結果、平成 27 年度はほぼ前年同様の数字が算出された。

又、休止又は廃止予定タンクのアンケートを行い、該当タンクは上記その他への積算としている。

次にあげる消防庁把握数値対 J T T A アンケート対比では対象タンク（特定、準特定）での適合率の為、当協会は適合化が進んでいる。

消防庁把握数値対 J T T A アンケート対比

全国／協会対比		対象タンク	適合タンク	適合率	未適合	未適合率	新基準適合 期限
H27JTТА	1万kl以上	2	2	100.0%	0	0%	
H27JTТА	1000kl以上	104	104	100.0%	0	0%	
H27JTТА	500kl以上	402	340	84.6%	62	15.4%	
H20 消防庁全国情報	1万kl以上	1,779	1,533	86.2%	246	14%	2009/12/31
H26JTТА	1万kl以上	2	2	100.0%	0	0%	
H20 消防庁全国情報	1000kl以上	4,452	2,537	57.0%	1,915	43%	2013/12/31
H26JTТА	1000kl以上	111	111	100.0%	0	0%	
H20 消防庁全国情報	500kl以上	3,633	734	20.2%	2,899	80%	2017/3/31
H26JTТА	500kl以上	381	323	84.8%	58	15.2%	

平成 20 年 7 月 17 日物流ニッポン紙面にて 準特定タンクの新基準適合確認済みタンクが 2 割にとどまっていることを受けて指導の徹底、これにより屋外タンク貯蔵所の耐震安全性を早急に確保するとの消防庁発表記事が掲載されていた。当協会は任意のアンケート調査の為、数字のバラつきが散見されているが、当協会は適合化が進んでいる。

2. 平成 27 年度危険物事故防止アクションプランに関するアンケート

(1) 重点項目に関するアンケート結果の件

回答数 19 社 32 事業所

① 危険物施設の日常点検の推進

- ・ 毎日の点検及び定期点検の強化
- ・ 日常点検項目の見直し、追加

② 屋外タンク貯蔵所、配管等の腐食・疲労劣化防止対策の推進

- ・ 計画的、定期的の塗装
- ・ タンク、配管ステンレス化
- ・ フレキシブルホース定期点検
- ・ 雨水侵入防止措置
- ・ 保温コーキングの補修
- ・ 鉄製配管はドレン、サポート部を中心に点検強化及び塗装
- ・ 防油堤の定期的な点検、補修

- ・自主点検の強化
 - ・保温材を撤去しての点検、塗装
 - ・配管の気密テスト
 - ・タンク、配管の溶接部検査
- ③ 危険物施設の地震対策の推進
- ・地震、津波避難マニュアルの作成、訓練の予定及び実施
 - ・屋外タンク貯蔵所新基準適合化の実施
 - ・事務所棟を耐震強化
 - ・非常時のバックアップ電力源の増強を計画
 - ・液状化対策(地盤改良)の着工
 - ・耐震基準確認の実施
 - ・津波時の避難場所の確保及び見直し
 - ・耐震補強工事の計画及び実施
 - ・防災要員の配備状況の強化
 - ・タンク元緊急遮断弁設置の検討
 - ・スロッシングを考慮した最大管理液面の見直し
- ④ 事故情報の共有による同種事故防止対策の推進
- ・徹底事項等、履行状況確認
 - ・5S活動、KY活動の実施、報告、検証
 - ・外部研修、訓練への積極的な参加
 - ・定期的な安全パトロールの強化
 - ・ヒヤリハット報告、危険箇所報告の実施
 - ・事故事例の水平展開
- ⑤
- ・作業従事者に対する安全・保安教育の実施状況
 - ・事業方針に沿った取り組み（5Sの徹底、チームワークの向上等）の実施及び検証
 - ・作業手順書を関係者全員で読み合せを行い、不安全作業の洗い出しと正しい作業手順の確認、理解不足による作業ミスの防止
 - ・栈橋危険物施設の防食方法変更（耐食性向上）
 - ・ヒヤリハットカード、危険予知カード、危険箇所提出推進
 - ・必要資格の取得
 - ・予防処置の実施
 - ・防災管理者、副防災管理者の研修実施
 - ・SDSの改訂の都度、教育を実施
- ⑥ 優良な取組事例が業種を超えた情報として共有されるようなくみ作り
- ・事業所へ入溝する協力会社、運送会社等との間にて協力会を開催、事故事例等、情報の共有、緊急情報についてはメールを利用し、会員各社へ連絡。